

事業所名	リハビリテーション・プログラム	支援プログラム	作成日	令和7年	3月	1日	
法人（事業所）理念	1.利用者を敬愛し、ふつうの出来る人権と福祉を守ることを第一に、福祉・介護・障害サービスを提供します。 2.利用者・家族の希望、提案、苦情等を受け止め、相手の立場を尊重して、「聞いて」「見て」「考えて」サービスの改善向上に努めます。 3.地域に信頼される社会福祉法人、地域に根ざした施設づくりを目指して、日々研鑽を積み、健全な経営に努めます。 4.地域の福祉・介護・障害サービスだけでなく医療・保険サービスとも密接な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。						
支援方針	・利用児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、社会との交流を図ることができるよう、利用児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び行います。						
営業時間（通常日）	9 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	送迎場所により送迎有り無しについては応相談		
営業時間（学校休業日）	9 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	送迎場所により送迎有り無しについては応相談		
	支援内容						
本人支援	健康・生活	定期的な心身の把握として、毎日体温測定を行います。 生活に必要な基本的スキルを獲得できるように、こどもの特性に合わせて個別や集団で支援を行います。 パソコン活動を通しての姿勢保持のを行います					
	運動・感覚	運動スペースや近隣の公園などでの活動を取り入れ、軽運動を行います。 こどもの発達段階及び特性に配慮した視覚・聴覚・触覚等の感覚を十分に活用できるような遊びや運動を行います。（ボール遊び・鬼ごっこ・鉄棒・粘土遊び・創作活動） パソコン・タイピングなどを通して手先の訓練を行います					
		季節の変化へ興味など感性形成を構築するため、クッキングや地域の取り組みや外出を行います。 こどもの発達段階に対応した数量、形の大きさ、重さ、色の違いなどを取得するため、具体的な働きかけ（声掛け・提案）を日常の中で行います。 パソコンのマイクラフトを通して情報収集を行い、思考力を働かせてイメージした作品つくりを行います					
	言語 コミュニケーション	来所時等にしつかり挨拶を行い、言語コミュニケーションを図ります。 学習の時間を設け、わからない時にはスタッフと一緒に考えたりします。 活動時や様々なルール事を文字や絵で掲示し、視覚的支援を行います。 知らない語彙があった際はパソコンの検索などをつかい調べ具体的な言葉の意味などを理解し相手に伝える技法を学んでいきます。					
	人間関係 社会性	遊びや運動を通じて集団で行動する機会、役割分担する機会を設けます。 遊びや運動を通じてルールを理解する機会を設けます。 SNSや動画などを活用して社会でのルール（自転車やSNSの怖さ等）を職員と一緒に学び理解できる場を設けます。					
家族支援	・子育ての悩みなどに対する相談を行います。 ・家族の生活を考慮し、登所・帰所の際に送迎を行います。 ・保護者のニーズに合わせて延長支援を行います。 ・保護者同士の情報共有・交流を深めていきます。	移行支援	・生活活動範囲獲得のため、外出による体験などの支援を行います。 ・就労に向けた技術体験（パソコン等）の訓練などを行います。				
地域支援・地域連携	・統一性の取れた支援を行うため教育・医療・相談支援関係機関等との情報共有を行っていきます。 ・地域住民や同年代の子どもとの交流を図り、地域のお祭りやイベントなどへの参加を行います。	職員の質の向上	・定期的に利用児さんの情報を職員間で共有し、多職種間での意見交換などをを行う場を設けています。 ・多職種間での情報交換や訓練内容の共有や補助を行います。				
主な行事等	・年に1回保護者交流会を開催します。 ・地域の行事ごとなどに参加できる際は参加しています。 ・季節のイベント（節分・クリスマス会・クッキング）は所内などで取り組んでいます						